

京都文化博物館二〇二一年度総合展示
戦時下・占領期の前衛絵画と写真 第一部

あさまよえるの絵筆

東京・京都 戦時下の前衛画家たち

二〇二二年六月五日土—七月二五日日

Exploring the Alternatives Avant-Garde Painters in Wartime Tokyo and Kyoto

戦時下でも消えることのなかった前衛芸術の灯

会場＝京都文化博物館3階展示室 開室時間＝10:00～19:30(入場は19:00まで) 休館日＝月曜日

主催＝京都府、京都文化博物館 協力＝板橋区立美術館、みすず書房 助成＝公益財団法人ポーラ美術振興財団、芸術文化振興基金助成事業

入場料＝一般500円(400円)、大学生400円(320円)、高校生以下無料

*()内は20名以上の団体料金 *総合展示(2階)とフィルムシアター(3階)をご覧ください(フィルムシアターは催事により有料の場合があります)。



公益財団法人
ポーラ美術振興財団
POLA ART FOUNDATION



京都文化博物館
7604-6183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
www.bunpaku.or.jp

日本の前衛芸術が最盛期を迎えた1930年代後半、京都では、独立美術京都研究所や新日本洋画協会を中心に、新しい絵画の実験が行われていました。活動の中心にいた北脇昇と小牧源太郎は、東京の芸術団体である創紀美術協会や美術文化協会にも参加し、活動の幅をさらに拡大しようと試みます。

しかしながら日中戦争から太平洋戦争へと突き進む状況下において、日本の前衛画家たちは徐々に表現の自由を奪われていきます。西洋の古典絵画を思わせる技法で描かれた人物画や静物画、埴輪や仏像、地方の風景を主題とする作品など、彼らが描く技法やモチーフは変化していきました。京都の画家たちもまた、身近な「伝統」と対峙し、自身の立ち位置を確認することで、人間や社会の深層を独自に探求し始めます。

本展では、時代の大きな転換期にありながらも「新しい絵画」を模索し続けた前衛画家の作品を、当時の資料とともにご紹介いたします。東京と京都、ふたつの都市を拠点とする前衛画家たちは、さまざまながらも、絵筆を止めることなくキャンバスに「今」を写し続けました。

関連イベント

講演会

「転換期の東京の前衛画家たち」2021年7月10日(土)10:30~12:00

講師 弘中智子(板橋区立美術館 学芸員)

会場 3階フィルムシアター 定員 70名

参加無料(ただし、本展入場券(半券可)が必要)

申込先着順。往復はがきに、住所、氏名(返信用にも)、電話番号、希望イベント名を明記し、京都文化博物館「さまよえる絵筆(講演会)」係へ、もしくはホームページ「総合イベント申込フォーム」からお申し込みください。



さまよえる絵筆展関連映画上映

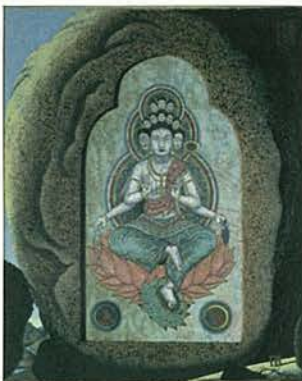
『疏水 流れに沿って』(能勢克男、1934年、14分)その他上映予定

2021年7月10日(土)13:30~、17:00~

会場 3階フィルムシアター

詳細はWebサイトをご覧ください。

- 1 鏡光 静物(雉) 1941年 東京都現代美術館
- 2 長谷川三郎 都制 1937年 学校法人甲南学園 長谷川三郎記念ギャラリー
- 3 小牧源太郎 壁画(十一面観音像) 1943年 京都市美術館
- 4 松本竣介 りんご 1944年 株式会社 小野画廊
- 5 難波田龍起 ヴィナスと少年 1936年 板橋区立美術館
- 6 北脇昇 非相称の相称構造(窓) 1939年 東京国立近代美術館
- 7 麻生三郎 とり 1940年 東京国立近代美術館
- 8 福沢一郎 二重像 1937年 東京国立近代美術館
- 9 寺田政明 芽 1938年 板橋区立美術館



新型コロナウイルス感染防止対策

- ・展示室内の混雑状況により入場を一時的に制限する場合があります。
- ・マスクの着用をお願いします。
- ・発熱や咳など風邪のような症状がある方は来館をお控えください。
- ・展示室内の会話はできるかぎりお控えください。

※新型コロナウイルス感染予防のため、掲載内容に変更が生じる場合があります。最新情報は博物館公式HPや展覧会公式ツイッターでご確認ください。

入場料

- ・一般500円(400円) 大学生400円(320円)
- ・高校生以下 無料 ※()内は20名以上の団体料金

交通案内

- ・地下鉄「烏丸御池」駅下車、5番出口から三条通を東へ徒歩約3分
- ・阪急「烏丸」駅下車、16番出口から高倉通を北へ徒歩約7分
- ・京阪「三条」駅下車、6番出口から三条通りを西へ徒歩約15分
- ・JR・近鉄「京都」駅から地下鉄へ
- ・市バス「堺町御池」下車、徒歩約2分



THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館
 〒604-8183 京都市中京区三条高倉
 TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
 www.bunpaku.or.jp